

# OPECA 特定非営利活動法人 岡山環境カウンセラー協会会報

第10号 2008年3月15日(土)発行



## 特集 2007年度の活動実績

### 「地球温暖化現象 前兆」

岡山環境カウンセラー協会 会長 福留 正治

昨年、内外共に地球規模で史上初めての記録的異変が数多く起こった酷い年でした。

一体これらの現象は何を意味し、何を示唆しているのでしょうか。私たち人類が快適で便利な暮らしを実現した代償として、自然環境に多大な負荷を与え、社会経済システムと自然環境のバランスが崩れて

きて、将来の人類存亡に大きな危惧を与えこいるといわれています。科学的根拠にも基づいていて決して誇張ではないようです。

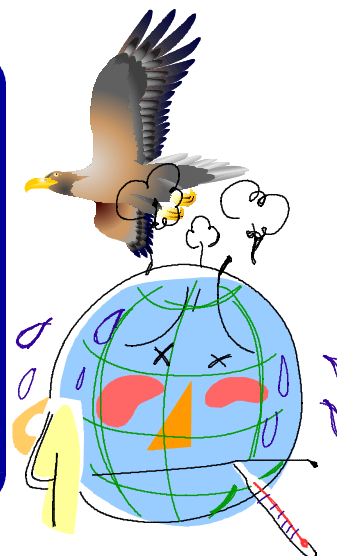
「ハインリッヒの法則」をご存知ですか。労働災害の研究結果から生み出された例の三角形の法則です。別名「300事故」とも言います。『1件の重大災害(死亡災害)に至るまでに29件の中災害がある。29件の中災害に至るまでには300件の微小災害かヒヤリハットがあるはずだ。』というものです。「重大災害・事故はいきなり起きない、必ず前兆がある」私が長年勤めた現場管理者としての経験則です。最近の色々な現象を見ていますとハインリッヒの法則は労働災害のみならず全ての現象に当てはまるような気がします。

もし、300件もチャンスがあったのだから、その時にきちんとした手を打っておけば重大災害は防げた、小さな現象を大事故に至る前兆だと看破し、事前に手が打てたならば大事故には至らなかった、等という例は過去にいくらでもあるのです。

しかし、事後対策には反省だ、謝罪だ、とってお金もかけるし、頭も下げますが、起きる前に打つ手、予防対策は中々出来ないものです。とは言うものの、最近では機械設備保全においてBM(事後保全:ブレークダウンメンテナンス)よりPM(予防保全:プレベンションメンテナンス)の方が生産性は上がりトータルコストダウンにつながることがわかってきました。環境保全活動は典型的な予防対策です。

地球温暖化防止(異常気象現象対策というべきか)活動は100年後の人類存続を見据えている対策と言えるでしょう。

これからは国も企業も市民も種々の現象を300件の一つと感じるとか、種々の現象を前兆と捉えることが出来るか、その感性と能力が問われています。そして「先に手を打つ」ことに躊躇することなく、その価値を見出し、投資を惜しまないことが新しい社会経済システムを構築し、人類の存続に繋がるのではないのでしょうか。



図は <http://www.mitsue.co.jp/case/marketing/03.html> より引用

## 平成19年度行事を振り返って

岡山環境カウンセラ - 協会 事務局長 鐘築 勝利

今年はOPECAが主体となって実行した4つの企画・事業(プロジェクト)に参加し貴重な体験をしました。これらの事業への参加を通しOPECA会員の皆さんはもちろん、他の関係団体の皆さんとふれあい、新たな知人を得て新たなネットワークが広がったことを実感しました。多くの会員の皆様にも今後このような活動への参加を通じて自らのネットの拡大を体験してもらいたいと願っています。以下上記4プロジェクトでの会員の皆さんの活躍の一端を紹介しましょう。

### 1 海と川の世界学習 リーダー藤本さん

夏から秋にかけて計3回、海、川、そして山へと「水」をキーワードに異なるフィールドをつなげながら子供たちを対象に環境学習を行なったものでした。多方面にネットを持ち、各フィールドにそのたびごとに異なるプロを配置、動員しての企画力、実行力は流石環境大臣受賞の藤本さんならではの感心しました。又3回目の美咲町での植樹会は浦島さんの陣頭指揮の下、周到に事前準備された植樹場で多くの参加者を得て圧巻でした。浦島さんの実行力、執念に頭が下がりました。



### 2 子供エコクラブ交流会 リーダー 福田さん

環境省に登録した子供エコクラブ会員を集めての年1回の集合研修で、和気町佐伯の岡山県自然保護センターで開催したものです。福田さんの企画から根回し、事前打合せ・講習そして安全確保にも注意を払いながらの研修で見事でした。「現業」が母親であることが細やかな心配りに発揮されるのがとても印象的で、ベースに有る子供教育に対する情熱をいつも感じます。



### 3 サステナブル・エコスクール リーダー 内田さん

平成19年10月から平成20年1月にかけて全8回にわたって、事業者向けに環境にどのように取り組んだら良いのかを分かりやすく学んでゆこうと企画されたものでした。新しい試みとして仏教や宇宙の世界の話も入れ込みながらの進行で、最終回では事業の課題を環境カウンセラーを交えて討論しました。これだけ長期間の開催では力を継続することがそもそもとても困難なことですが、ここで内田さんの独特の粘りが発揮されて計画が完遂されたのは立派でした。



### 4 エコ検定in高梁 リーダー 井勝さん

高梁市の会場に設定したブースで環境に関するクイズを行なって環境の知識を高めてもらおうというもので、この種の企画では当協会が最大で初めての試みで、2日間で200名余の参加がありました。ブースでの展示物については環境カウンセラーから募ったものでそれぞれ工夫が施されました。また大学生の皆さんとの協働でもあって、老若それぞれが学んだこともありました。企画、展示に当たっては、限られた時間で井勝さんが奮闘され当日にこぎつけたことも特筆すべきことでしょう。



以上は私の目から見た活動の一部を紹介したもので全体を網羅したものではないことをお断りします。上記以外にも裏舞台で活動、協力された方が多くあったことは今更述べるまでないと思います。繰り返しになりますが、会員の皆様も今後新しくご参加いただき少しずつでも新たな自分の活動の場を発見してもらえればと願っています。



## 2007年度の活動実績（抜粋）

2007年度の活動の一部を抜粋して上記の表にまとめてみました。あくまで活動の一部ですから、この他にも様々な活動が岡山環境カウンセラー協会会員の参加の元で取り組まれています。このように岡山環境カウンセラー協会及び個々の会員の活躍はめざましく、市民、行政、企業の信頼も年々高まっていることが実感できます。

このことは、岡山環境カウンセラー協会の質の高さと、活動の的確さを表していて、これらの活動は他の見本となるとともに、多くの表彰の対象ともなっています。

定款の事業名	事業内容	実施年月日	実施場所
環境問題・環境保全活動・組織運営等に関する相談・助言	グリーンディ	平成19年4月	高梁川流域
	岡山県広場推進準備会	平成19年4月 ～平成20年3月	岡山県
	岡山ESD推進協議会	平成19年4月 ～平成20年3月	岡山市
	EA21認証取得のための企業支援	平成19年1月 ～平成20年3月 島根県EA21地方事務局 および企業支援	支援先企業3社
各種の環境学習講座等への講師派遣	セカンドライフ研修	平成19年4月 ～平成20年3月	NPO団体
	ふるさと自然体験学習	平成19年6月～平成20年1月	赤磐市立公民館
	オルガ企業環境塾	平成19年9月～平成20年1月	オルガ会館
	ESD企業と市民	平成20年3月	旭東公民館 企業見学（水島）
環境問題関連事業等の企画・運営	こどもエコクラブ交流会	平成19年10月20日	岡山自然保護センター
	サステナブル・エコスクール	平成19年7月 ～平成20年1月	ゆうあいセンター
	海と川の環境学習	平成19年7月 ～平成20年1月	岡山市御津建部 倉敷市水島 久米郡美咲町
	岡山ESD特別支援事業等	平成19年7月 平成19年8月 平成19年12月 平成20年1月 平成20年3月	西大寺公民館 大元公民館 御南西公民館 上道公民館 旭東公民館
	高梁環境フェア「岡山エコ検定in高梁」	平成19年10月6日 ～10月7日	高梁天満屋ハピータウン（ポルカ）
	ECUセミナー	平成20年3月2日・3日 &3月16日	国際交流会館 ゆうあいセンター
環境問題に関する情報交換	定例会	平成19年4月 ～平成20年3月	ゆうあいセンター等
会員の資質向上を図る事業	資質向上講座	平成19年4月 ～平成20年3月	ゆうあいセンター等

## 報告（平成19年度 こどもエコクラブ交流会 in わけ）

環境カウンセラ - 協会 福田 佳代

- 主催 岡山県  
 実施主体 特定非営利活動法人 岡山環境カウンセラー協会  
 協力 岡山県自然保護センター  
 日時 平成19年10月20日（土） 10:00～15:00  
 ところ 岡山県自然保護センター（和気郡和気町）  
 参加者 岡山県内こどもエコクラブ会員及びサポーター 79名  
 イオンチアーズクラブおかやま（岡山市） イオン倉敷チアーズクラブ（倉敷市）  
 城東台レインボークラブ（岡山市） 環境防衛隊（倉敷市）  
 まめっち（岡山市）
- 趣旨 タンチョウの観察・学習を通して、人と自然の共生を学ぼう  
 概要 要 まず初めにタンチョウの飛翔で歓迎され、雄大さに子どもも、大人も感動しました。立っているときに黒く見える部分は、タンチョウのおしりではなく羽であること、日本は最も大きな鳥類であることを学びました。  
 タンチョウはえさと間違えてタイヤ、リングタブ、ナット、ビニール袋など人間が捨てたごみを食べてしまうことがわかりました。  
 また、タンチョウはとても愛情が深く子どもを大切に育てるけれど、子別れになると厳しいことも学びました。  
 タンチョウの住めるような環境を作るためには、どうしたらよいのか、子どもでも何かできることはないだろうかと考え、それを実行していくことの大切さを学びました。



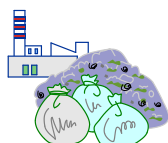
## 参考 「岡山エコ検定」問題例

岡山エコ検定の問題例を下に示します。20問で小学生は6割、大人は7割正解で、合格証と賞品（買い物袋）を贈呈、特別問題に正解すると景品を出しました。（字が小さくて見えない人はルーペを！）

### 第7問

一般ごみは、直接焼却、直接埋立、資源化等で処理されます。さて、岡山県では、平成16年度の総排出量のうちのくわいが直接焼却されているでしょうか、次の中から選んでください。

- 36%
- 56%
- 66%
- 76%
- 86%



#### ヒント

岡山県環境白書をご覧ください。

### 第12問

有機物による河川の汚れはCODで表します。高梁川の中流域（高梁～倉敷付近）のCODは次のうちのレベルでしょうか？

- 1 mg/L 以下
- 1.1～3.0 mg/L
- 3.1～5.0 mg/L
- 5.1～8.0 mg/L
- 8.1 mg/L 以上

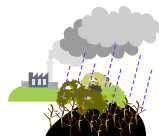
#### ヒント

CODパケットで高梁川の水のCODを測定してみてください。

### 特別問題

岡山県倉敷市の一部で大気汚染の大きな公害問題になった物質はどれですか、現在でも規制値が決められ厳重に排出量が測定監視されています。

- 二酸化イオウ (SO<sub>2</sub>)
- 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)
- アンモニアガス (NH<sub>3</sub>)
- 水素ガス (H<sub>2</sub>)



#### ヒント

ヒントはありません。

## 「環境大臣表彰」受賞活動の実績 ～持続可能な社会を目指して～

岡山環境カウンセラ - 協会 副会長 三宅 直生  
(岡山県立津山工業高等学校 教諭 工業化学科長)

私は昭和58年に倉敷川の水質改善を目的として倉敷工高の生徒達とともに環境調査を始めました。水面に浮かぶおびただしいゴミをみて、「このままでは人の心も荒廃する」と感じる一方で、植物の多いところでは水質が改善していることを知り、自然の浄化能力を実感して、「自然との共生」および「省エネ」をテーマとして、植物を利用した環境学習プログラムの開発・実践を始めました。

当時から啓発活動の必要性を痛感し、ビデオの制作や会報の発行を積極的に行っていました。その結果メディアに取り上げられることも多く、娘の通う小学校の保護者から請われPTAの副会長として北小リサイクルの会を結成し、代表に就任し地域の環境学習の核となるように活動しました。

平日は勤務先の高校で高校生とともに、休日は小学校で保護者や児童とともに、主に植物を栽培しながら、生態系の学習をしたり、植物を様々に利用することをメインとした環境学習と駄瓶の回収などを行っていました。それらの活動を通して、研究者や行政マンあるいはN G O等、多くの方々からいろいろなことを教えていただきました。これが今日の大きな財産となっています。その頃確信したことの一つに「弱いものの立場に立ったとき真実が見える」ということがあります。これが私の活動に福祉施設との協働事業があること理由でもあります。

指導していた倉敷工高や北小リサイクルの会が相次いで児島湖流域環境保全功労賞を受賞、代表を務めていた倉環境教育研究会が全国工業高等学校長協会から表彰されたり、様々な場で発表する機会を得たり、あるいは岡山県の環境学習検討委員を務めるなど、環境教育の第一人者と自負していましたが転機は10年前に訪れました。

現在の勤務先に異動になり、当時の校長(岡山県工業教育協会の理事長を経て、現在は科技専の校長に天下っている)に「あなたのように同じ学校に20年以上も勤めたようなやつはここで腐れ」といわれました。これまでの活動ができなくなり困惑しましたが、幸いなことに、その年に現岡山環境カウンセラー協会の会長である福留氏から環境カウンセラー協会の結成のお話があり、環境カウンセラーとしての活動に活路を見だし、環境カウンセラー協会の副会長として真剣に環境学習に取り組みました。その結果、行政や住民の方々の信頼を得ることができたような気がしています。

一方、環境教育に全く関心のない勤務先では「趣味に走る変人」、「怠け者」等々の評価を受けていました。そう言うわけで、異動後5年間ほどは、教師として環境教育の実績を上げることは出来ませんでした。環境カウンセラーの知名度アップには出来るだけの努力をしました。おかげで、これまで付き合いのなかった実業界の方々をはじめ様々な方々と知り合うことができ、視野が広がったようにも思えます。勤務先では、ここ数年すばらしい生徒にも恵まれ、前任校以上に環境教育に取り組むことができ、成果も上がっています。

このように公私ともに環境教育・環境学習漬けの毎日を過ごしていることが、今回環境カウンセラー協会の推薦をいただいたの受賞につながったと考えています。(個人での受賞は全国で4人、4人のうちの3人は環境カウンセラー)

最近では、地域の未活用バイオマス資源の有効なリサイクルをする「Project R」という企画を実践しています。富栄養化した水域の水生植物を飼料や生分解性のトレイに加工したり、耕作放棄地などでバイオマス量の大きな作物を栽培し、地域住民などと料理を楽しんだ後、食べない部位をペレット燃料やパーティクルボードにしたり、繊維を取り出して福祉施設に提供するなど、脱石油の具体化に挑戦しています。

現在は環境カウンセラーとして、あるいは教師として、様々な企画を実施することができ、しかも多くの方々から喜んでいただくことも多く、今までの人生の中で最も充実した日々が送れていることを感謝しつつ、持続可能な社会実現のためには「希望」と「思いやりの心」が極めて重要であることを実証する実践を目指したいと考えています。



表彰式の様子



環境カウンセラー協会と福祉施設と津山工高との協働事業(公民館でのリサイクル講座)

## 「温暖化防止地域専門家育成セミナー」開催

岡山環境カウンセラ - 協会 内藤 はま子

ECU（全国環境環境カウンセラー協会）主催による「地球温暖化防止活動推進地域専門家育成セミナー（中四国九州ブロック会場）」が3月1日・2日に岡山国際交流センター（岡山市）で開催され、次いで3月16日には岡山NPOセンターで3日目が開催されます。

環境カウンセラー（環境省登録）は環境保全に対して高度な知識と広範な経験を有し、現在全国で約4,000人が環境省から認定され、個別に環境コンサルティングや地域環境活動に参加しているものの、この保有する環境知識・経験・環境保全活動への思いをもっと効果的・効率的に環境活動に生かすことで、国民による環境保全活動を組織化し、推進していくことができるという趣旨で立ち上がったセミナーです（佐々木ECU専務理事と内藤が環境省に説明に行きました）。

このセミナーには、福岡・愛媛・香川・高知・岡山から選抜された環境カウンセラーが岡山に参集し、OPECAメンバーはプレーイングスタッフとして21名が参加しました。

またOPECAメンバーの井勝久喜吉備国際大教授「環境問題のとらえかた～行動を起こす前に知っておきたいこと」、同様にOPECAメンバーの中平徹也地球温暖化防止推進センター室長「地球温暖化防止活動推進センターの活動の現状と課題」がセミナーの基調講演を担当されました。

このセミナーで養成された専門家が、待ったなしの地球温暖化防止のために、地域の環境政策立案・環境保全活動の幅広い関係者（NPO・NGO、地球温暖化防止推進員・省エネ普及指導などさまざま）とのネットワーク化・活動の合意・推進・協働などをリードし、**地域環境力強化**につないでいきます。

3年後には、環境教育・環境学習上級インストラクター（仮称）として環境大臣認定の資格になるようです。さらに洞爺湖サミットへは、わが国の環境地域力をアピールする中心として、今回のセミナーの成果を「報告書」にまとめて国内外へ発信していく予定です。



### 会員の皆さんへのお願い

特定非営利活動法人 岡山環境カウンセラー協会はその定款に定めるところにより運営されております。定款の第7条によると、協会の会員となる者は「この法人目的に賛同し、誠意をもってこの法人の事業を推進する人であること」と定められております。特定非営利活動法人岡山環境カウンセラー協会の会員の皆さんは、正業および国家資格をお持ちです。環境カウンセラーは我が国においては未だほとんど職業として成り立っておりません。正業あつての環境カウンセラーの自主的活動が成り立ちます。環境カウンセラーは環境スペシャリストのシンボルみたいなものです。会員の皆さんにおかれましてはどうか正業を最優先してください。そして、時間の出来た人は時間を、筋骨モリモリ腰が丈夫で力が出る人は腕力を、頭が良くて専門性の高い人は知識を、経験豊かな人は知恵を、そしてお金のある人はお金を、全部可能な方は全てを、協会事業推進のためにご提供いただければこれに勝るものはありません。どうか会員の皆さんのできる範囲でご協力いただき、NPO法人として公益事業を推進し、社会に貢献できるように支えていただきたいと思います。

早めの会費（正会員5,000円/年、準・賛助会員2,000円/年、納入をお願いいたします。継続して2年間会費を滞納しますと会員の資格を喪失いたします。

発行：岡山環境カウンセラー協会 〒712-8015 岡山県倉敷市連島町矢柄5832-9 福留方  
発行人：福留正治 編集人：三宅直生 TEL & FAX(086)446-0880